

海外特別研究員 平成23年度中採用者一覧

社会科学 20名

平成24年3月1日現在

通番	採用年度	氏名	フリガナ	申請時所属機関	部局	職名等	分科	細目	研究課題名	派遣国名	受入研究機関名
1	22	阿部 修士	アベ ノブヒト	東北大学	大学院医学系研究科	助教	情報学	認知科学	ヒトの欺瞞行動の意思決定についての認知神経科学的研究	米国	ハーバード大学
2	22	出馬 圭世	イズマケイセ	玉川大学	脳科学研究所	特別研究員 PD	心理学	社会心理学	態度と動機づけの神経基盤	米国	カリフォルニア工科大学
3	22	桑村 裕美子	クワムラ ユミコ	東北大学	大学院法学研究科	准教授	法学	社会法学	労働法における国家・集団・個人：労働条件規制の柔軟化に関する比較法的研究	ドイツ	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学(フランクフルト大学)
4	22	米田 英嗣	コメダ ヒデアツグ	自然科学研究機構	生理学研究所	特別研究員 PD	心理学	教育心理学	物語理解における他者認知の神経基盤：自閉症者および非自閉症者を対象とした検討	米国	ウィスコンシン大学マディソン校
5	22	多湖 淳	タコ アツシ	神戸大学	大学院法学研究科	准教授	政治学	国際関係論	安全保障分野における国際制度の計量分析：国際法と国際政治の相互関係・制度間関係	米国	カリフォルニア州立大学 サンディエゴ校
6	22	早川 和彦	ハヤカワ カズヒコ	広島大学	社会科学研究科	講師	経済学	経済統計学	高次元パネルデータの計量経済分析	英国	ケンブリッジ大学
7	22	番 浩志	ハン ヒロシ	バーミンガム大学	School of Psychology	ポスドク	心理学	実験心理学	EEG/fMRIの同時イメージング技術と行動実験による視覚物体学習過程の解明	英国	バーミンガム大学
8	23	阿部 高志	アベ タカシ	(財)神経研究所	附属睡眠学センター	研究員	心理学	実験心理学	眠気による事故の発生機序と予防法に関する精神生理学的検討	米国	ペンシルバニア大学医学部
9	23	市川 紘子	イチカワ ヒロコ	東京大学	学際情報学府	大学院生	社会学	社会学	米国の対外ラジオ政策ー冷戦末期の対中VOA放送の送り手および受け手の相互作用の実態	米国	イエール大学
10	23	小林 哲郎	コバヤシ テツロウ	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構	国立情報学研究所	助教	心理学	社会心理学	高度情報化社会における政治的学習に関する実験社会心理学研究	米国	スタンフォード大学
11	23	紺野 友彦	コンノトモヒコ	東京大学	経済学研究科	特別研究員	経済学	理論経済学	統計力学の手法を利用した新しい経済学の構築	米国	プリンストン大学
12	23	杉森 絵里子	スキモリ エリコ	東京大学	総合文化研究科	特別研究員	心理学	実験心理学	自己主体感に関わるソース記憶の解明：“エージェンシーメモリー”の神経基盤	米国	イエール大学
13	23	高橋(齋藤)由起	タカハシ(サイウ)ユキ	大阪大学	高等司法研究科	准教授	法学	民事法学	保証人保護法理の深化と人的担保法の新たな展開	フランス	パンテオン＝アサス(パリ第2)大学
14	23	中尾 敬	ナカオ タカシ	名古屋大学	環境学研究科	特別研究員	情報学	認知科学	明確な一つの正答が存在しない事態における行動選択を支える脳内過程の解明	カナダ	オタワ大学
15	23	福井 隆雄	フカイ タカオ	東京大学	先端科学技術研究センター	特任研究員	情報学	認知科学	行為生成・遂行に関わる背側・腹側経路の相互作用メカニズムの解明	フランス	国立衛生医学研究所
16	23	古屋 晋一	フルヤ シンイチ	関西学院大学	理工学	特別研究員	健康・スポーツ科学	身体教育学	音楽家のフォーカル・ジストニアのための運動機能回復訓練法の開発	ドイツ	ハノーファー音楽演劇大学
17	23	宮腰 誠	ミヤコシ マコト	独立行政法人国立長寿医療研究センター	長寿医療工学研究部 神経情報画像開発研究室	非常勤研究員	情報学	認知科学	視覚的自己認知が行動出力を促進させる神経活動の時間的解明	米国	カリフォルニア大学サンディエゴ校
18	23	村上 裕樹	ムラカミ ヒロキ	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター	精神保健研究所 精神生理研究部	研究員	心理学	臨床心理学	遺伝子多型による感情障害のオーダーメイド治療を実現する脳ー身体ネットワークの解明	米国	ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校

海外特別研究員 平成23年度中採用者一覧

社会科学 20名

平成24年3月1日現在

通番	採用年度	氏名	フリガナ	申請時所属機関	部局	職名等	分科	細目	研究課題名	派遣国名	受入研究機関名
19	23	村山 航	ムラヤマ コウ	University of Munich (Ludwig-Maximilians Universität München)	Department of Psychology	ポスドク	心理学	教育心理学	知的好奇心が学習に与える影響:行動的・神経学的・縦断的アプローチ	米国	カリフォルニア大学ロサンゼルス校
20	23	渡邊 慶	ワタナベ ケイ	京都大学	こころの未来研究センター	特別研究員	心理学	実験心理学	脳損傷ザルを用いた視覚的注意における前頭連合野トップダウン信号の役割の解明	英国	オックスフォード大学